



今月はロザリオの月ですね。ちょうど 50 年前の 10 月 13 日に秋田の湯沢台（聖体奉仕会）のシスターの前にマリア様が登場され、託したと言われているメッセージの内容を、先日知人が送ってくれました。以前も目にしていましたが、ここ数年の世界の状況に重ね合わせて考えてみると、改めて心に深く刻みつけ、マリア様のおっしゃっている事を実行しなければ、という思いに駆られます。

このメッセージをまとめると、「これ以上罪を犯さないように、罪のゆるしを願い、ロザリオの祈りと御子の残された印（ご聖体）を大切にしてください」ということになります。

日々の生活に追われて、祈りを忘れがちですが、いつもともにいて下さる主に感謝し、祈りを大切にしたいと思います。

+++++
自主グループ

読書会

読書会の始まりのことはよく判りませんが、18 年位前に N さんから、「大野さんは無知だから勉強した方がいいよ。僕が教えてあげるよ」と誘われて読書会に入りました。

当時は 3 人で台所かマタイの部屋でテキストを輪読し、感想を分かち合いました。

テキストは本田哲郎神父様の「釜ヶ崎の福音」、C・ルプティの「シャルルとイエズス」、ホアン・マシアの「いのちの重み」、教皇フランシスコの「兄弟の皆さん」「喜びに喜べ」「コロナの世界を生きる」、トマス・アケンピスの「キリストにならいて」等々。

今は堀越善晴の「世界を手で見る耳で見る」を読んでいます。

テキストは皆で相談したり、神父様に紹介していただいて決めています。

コロナ以来オンラインで、今は 5 人でやっています。実際に会っていないので、雑談したり、ケーキを食べてお誕生日を祝うことはできなくなりましたが。皆で近影やスタンプ等を送り合って楽しくやっております。

月に一度段落分けしたテキストの感想を LINE で送るだけです。都合の悪い時はもちろんパスしても大丈夫です。

もうじき新しいテキストになりますので、皆様どうぞお気軽にご参加ください。



北区 大野

内容【活動紹介】読書会、手話勉強会【大宮教会共同体のための祈り】

【信徒委員会】信徒総会・堅信式・追悼するミサ・初聖体・クリスマス準備

【総務部】フリーマーケット【青少年養成部】七五三の祝福

【その他】クリスマスツリー・毎日のミサ購読のお誘い【サモア～主によばれて（22）】

手話勉強会

1年間に4～5回行われておりました勉強会がコロナ流行の為、不定期となり、今年は異状な暑さもあり、3回位に減っています。

講師は群馬県富岡から車で来て下さいます。

考えさせられる逸話を用意して、表現が判らなくても、口の開け方、指文字で理解出来たり、毎回楽しく学んでいます。

以前野上神父様のミサの時、春野さんが手話ミサを担当なさっていて、表現が素晴らしく、彼に願って手話勉強会が始まりました。1990年代のことです。

Sr.楠瀬もご一緒でした。

関心のある方はどうぞご参加下さい。



北区 大澤



信徒委員会

ここ数年、大宮教会に来る若い人や子どもがめっきり減っていることに危機感を感じ、対策を講じるとともに、ミサの中で共に祈ることになりました。

毎月第1・3・5日曜日の聖体拝領中（今は「シノドスのための祈り」を唱えている時間）に唱えます。第2・4日曜日は「シノドスのための祈り」を唱えます。

＋ 大宮教会共同体のための祈り ＋

いつくしみ深い神よ、

私たちの大宮教会に子どもたちを与えてくださったことを感謝いたします。主は「子供たちをわたしのところに來させなさい」と仰せられ、特別に子どもたちを愛されました。子どもたちのいのち、人生を導き、お守り下さい。

高齢化が進み、子どもたちが減っているこの現実の中で、私たちがこの信仰に生きる喜びを次世代に伝えていくことができますように。様々な価値観が存在する今の社会にあって、本当に大切なことが何かを子どもたちに伝えさせてください。子どもたちがあなたの愛の中で、安心してのびのびと成長し、私たちすべてがともに成長していくことができますように。恵みのうちにすばらしい未来に向かって歩み、未来の教会をともに創りあげる力となりますように。

主よ、わたしたちを強め、あなたへの深い信頼の心で歩むことができるよう支えて下さい。

いつくしみの聖母マリアよ、どうかいつも子どもたちを見守り、教会のなかだけでなく、どこにいてもいつもあなたのみ手でお守りください。

わたしたちの、主イエス・キリストによって。アーメン。



<信徒委員会・各部からのお知らせ>

【平日ミサ】毎週火～金 AM7 時小聖堂・土曜日夕方ミサはありません

+++++

<信徒委員会より>

- ・**信徒総会**：11月26日（日）のミサ後に4年ぶりに開催します。議題は2024年度予算案の検討、2024年の信徒会長選出の2点です。

- ・**堅信式**：11月5日（日）山野内司教様をお迎えして行われます。受堅者は7名です。

- ・**亡くなった兄弟姉妹を追悼するミサ**：

通例では11月1日の「死者の日」の次の直近の日曜日に行ってききましたが、今年は堅信式と重なるため、次の**11月12日（日）**に行うこととなりました。七五三のお祝いと重なることとなります。当日ミサ前に、各自ご持参したご家族の写真を祭壇前の台に置いてください。お帰りの際に忘れずにお持ち帰りください。

- ・**初聖体**：11月19日（日）ミサの中で2名のお子さんの初聖体が行われます。
教会全体でお祈りと祝福をお願いします。

- ・**クリスマスの馬小屋、イルミネーションの設置**：
11月26日（日）ミサ前9時からとミサ、信徒総会終了後に行います。
（予備日として12月3日（日）も空けていますが、午後2時より英語ミサがあり、1時過ぎから園庭が混雑しますので、早めに終わらせる必要があります）
多くの方のご協力があれば短時間で設置できますので、よろしくお願いします！

<総務部>

- ・**フリーマーケット**：先月号に「10/29開催予定」と掲載しましたが、来年に延期となりました。

<青少年養成部>

- ・**七五三の祝福**：11月12日（日）のミサ中に七五三の祝福をいたします。
対象は3歳・5歳・7歳のお子さん（性別問わず）。去年対象で、受けられなかったお子さんも受ける事ができます。希望される方は、受付の申込用紙に記入して下さい。

<その他>

- ・**クリスマスツリー**：12月3日ミサ後、1階ロビーに例年通りクリスマスツリーを設置します。お手伝いして下さる方（特に男性の方）募集中です。よろしくお願いします。

グロリエッタ・槻田

- ・**「毎日のミサ」購読のお誘い**：カトリック中央協議会出版部より2か月ごとに出版されている「毎日のミサ」を個人で購読されている方もいらっしゃると思いますが、来年度より大宮教会で一緒に購読しませんか？
教会でまとまった部数を注文することで、割引率が高くなり、その分で神父様用2部、教会用1部を賄うことができます。この機会にご協力ください。よろしくお願いいたします。

見沼区 須田

† サモア～主に呼ばれて (22) †

パースでは 4 か月間語学学校に通う生活でした。朝は 6 時頃に起きて、準備していただいた朝食を食べます。朝食は 4 か月間全く同じメニューでした。オレンジジュース、コーンフレーク、トーストと紅茶（ミルクティー）です。おかずという概念がないのか、本当に 4 か月間まったく変わらず、毎朝同じでした。準備してくださるのはホームステイ先の御主人、グラハムさんです。平日は分かりませんが、土日は奥さんの分を準備して、寝室に持って行っていました。今では我が家も土日は私が朝食の準備をします。私はおかずも作る場所が違います。おかずと言っても、目玉焼きやベーコンを焼いただけという簡単なメニューですが。

朝食を食べ、7 時に家を出て、バスを乗り継いで学校へ。バスターミナルから学校までは歩いて 15 分くらい。家を出てから 2 時間近くかかるので、トイレに行きたくなります。いつも途中にあるヒルトンのホテルのトイレを使わせてもらっていました。トイレはきれいな方が気持ちいいですね。たまたま学校に行く途中で、どうしても行きたくなってホテルに入ったら、何も言われなかったの、それから毎日お借りしていました。学校と言っても街中にあるビルの 2 階のフロアに 10 人くらい入るといっばいになるような狭い教室がいくつかあるだけです。

9 時から午前中の授業。10 時 30 分ごろに休憩時間があります。ラウンジでお茶や果物を買ったりして、休憩時間に飲んだり食べたりできます。休憩をはさんで 12 時までが午前の先生の担当。お昼は同じビルにあるカフェテリアで買うことが多かった。たいていはサンドイッチです。

河原に降りていくと芝生がとても広くて、ゆったりすることができました。また、温かい軽食も売っていて、ラザニアは時々食べていました。当時オーストラリアは物価が安く、1 日 5 ドル（500 円くらい）あれば十分でした。サンドイッチは作りしておきしてあるのもあれば、自分で好きな具を挟んで

もらうこともできました。ここのラザニアがおいしくて、ラザニア好きになりました。日本に帰ってきてからも、よく食べるようになりましたが、あんなに安くておいしいラザニアは日本ではないですね。



午後は 1 時から授業再開。3 時まで授業です。その後は街をぶらぶらしながら、ゆっくりバスターミナルまで歩いていきます。たいてい 4 時前にはバスに乗っていました。校外のターミナルにつく頃は、地元の高校生も帰宅時間のようでした。オーストラリアの人は、はだしが好きな人が多く、バスターミナルで見かける高校生も、はだしで歩いているのを見かけました。面白かったのは靴をもって、はだしで歩いている高校生もいたことです。暑い日はアスファルトも熱いのですが、熱そうにつま先立ちで歩いているのは、滑稽でした。

6 時から夕食。夕食はさすがに毎日同じということはありません。そのあとは、リビングでテレビを見て、宿題を片付け、シャワーを浴びて、寝る時間です。頭の中が英語ばかりになってしまうので、疲れてしまい、だいたい 9 時過ぎには寝る毎日でした。

日曜日はもちろんミサです。ホームステイ先はカトリックではないので、一人で行ってました。そんなに遠くないところにカトリックの教会はあるようでしたが、行きにくいので、パースの街にあるカテドラルに行っていました。もちろん聖書朗読の内容も分かりませんが、説教もほとんどわからないのですが、同じカトリックなのでミサの進行が分かるのは良いですね。御聖体も問題なくいただけます。主の祈りは頑張って覚えようとしたのですが、発音とスピードが周りについていけなかったです。

見沼区 齊藤

🍀 おおみや教会通信はカトリック大宮教会の HP (<https://catholic-omiya.net>) でご覧になれます。

* ご意見や投稿（本などの感想、特集してほしいことなど）を募集しています。

FAX か郵送で受け付けています

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町 2 丁目 3 5 0 FAX 048-641-2724

カトリック大宮教会 広報部宛

* おおみや教会通信 次号の発行は 11/19 予定（原稿締め切り：11/12）

